

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	松本市社会福祉協議会 しいのみ学園		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 24日		～ R8年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	R8年 3月 16日		～ R8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○重症心身障害児・肢体不自由児・医療的ケア児を中心とした重複障害児(視覚障害・聴覚障害含む)を積極的に受け入れている。	○内科健診・神経科診察・歯科健診・歯科指導を行い日々の療育に活かすとともに健康を維持し継続的に登園できるよう支援している。 ○看護師による健康観察や医療的ケアを行っている。 ○感染症対策の徹底。 ○理学療法士、作業療法士・言語聴覚士による個別支援をおこなっている。	○日々の感染症対策を徹底しつつ事前準備を丁寧に言い安全対策を確実に言うよう心掛ける。 ○看護師のサポートをより充実させ、丁寧な対応をしていくために、看護師の充足に努める。
2	○どんなに障害が重くても、子どもが子供らしくあるために、沢山の遊びやいろいろな経験をしよう。(理念)	○それぞれの身体状況に配慮しながら、子どもが日常的に経験するであろう活動や遊び、季節の行事にチャレンジし経験を積み重ねている。	○学園生活をより豊かにするために日々創意工夫をしている。
3	○親子で同じ活動を経験することによって、子どもへの理解を深め、成長をみんなで喜び合える環境を作っている。	○いろいろな活動を親子でしっかり経験し、積み重ねる中で成長への気付きを促している。 ○保護者が子どもの現状を理解し、次の課題を見つけられるよう丁寧にサポートしている。	○支援の質の維持・向上のために職員の固定化を図っていく。 ○支援のための研修を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○重症心身障害児・肢体不自由・医療的ケア児等を中心に受け入れているため、受診や体調不良・入院等で欠席も多く、長期入院もあり、登園が安定しない。	○感染症に対して強く意識を向けている保護者が多く又他児への伝染にも配慮している保護者が多いため、少しの体調不良であつても欠席されていると思われる。 ○体調不良や検査等での入院はやむを得ない事情であると思われる。	○在園児の体調不良等での欠席だけでなく兄弟児の体調不良等による欠席も少しばかり見られるため、状況をよく見たい。えで在園児が登園できるような体制を考えていきたい。
2	○日々の療育において、できる限り細やかな対応を心掛けているがそのためには支援する職員が必要となってくる。また、親にも子にもそれぞれに丁寧な対応をするために職員が必要となってくるが常にギリギリな状況になっている。(保育士・看護師 共に)	○医療的ケア児が増える中で、親から不安の訴えが増加しているが、十分に対応できていない。職員不足。	○保育士・加配職員・看護師の確保が必須。
3			